

1. 評価報告概要表

【評価実施概要】

事業所番号	2470400132
法人名	有限会社 花しょうぶ苑
事業所名	グループホーム 花しょうぶ苑
所在地 (電話番号)	亀山市本町1丁目2番12号 (電話) 0595-84-2215
評価機関名	三重県社会福祉協議会
所在地	津市桜橋2丁目131
訪問調査日	平成 20 年 10 月 29 日(水)

【情報提供票より】 (H20年10月1日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成 15 年 11 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	17 人	常勤 9人, 非常勤 8人, 常勤換算 7人	

(2)建物概要

建物構造	木造 造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	50,000 円	その他の経費(月額)	24,000 円
敷 金	有(150,000 円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(150,000 円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食 700 円
	夕食	500 円	おやつ 円
	または1日当たり 1,500円		

(4)利用者の概要(10 月 1 日現在)

利用者人数	9 名	男性 3 名	女性 6 名
要介護1	1 名	要介護2	3 名
要介護3	4 名	要介護4	1 名
要介護5	名	要支援2	名
年齢	平均 87.5 歳	最低 81 歳	最高 95 歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	おざき内科クリニック
---------	------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

地元出身の運営者が「地域に密着した老人福祉サービスを提供できる事業所を作りたい。地域に還元したい」思いで設立された事業所だけに地域との関わりは自然体で日常的で深い。住宅街にあり近くに小・中・高校、商店街がある利用者が年を重ねられた街である。住みなれた地でなじみの人達との関わりの中で生活できる事業所である。スタッフも経験豊かで理念にある地域の方々とも利用者もスタッフも「和気あいあい暮す」ことの実現に取り組んでいる。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回5項目に期待したい取り組みとしてコメントされているが、改善ではなく更なるサービスの質の向上を目指して取り組んで頂きたい期待の性質のものであり、今後も継続しながら質の向上を図っていこうとしている。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>スタッフ全員が項目に沿って個々の意見を出すことで全員参加している。評価プロセス上で気付きがあれば即検討し見直ししている。</p>
	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>行政、自治会、民生委員、家族、利用者、事業所関係者で構成され、それぞれの立場で情報提供やアドバイス、報告がある。費用の件や、介護度が改善し住宅復帰への不安等が話されたり、交通事故予防のための標識の設置要望も出されている。取り組めるものは即取り組みサービスの向上につなげている。</p>
重点項目②	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>面会時や運営推進会議、家族会等の機会に意見表出に努めている。又、身体状況や生活状況を随時報告し家族の安心につなげている。出された意見は即取りあげ取り組んでいる。</p>
重点項目③	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>自治会に準会員として加入。利用者も周辺地域の方々が多く、挨拶、声かけ、野菜の差し入れ等日常的に行なわれている。自治会からの情報提供による催し物や行事等に参加したり、おすすめ場所に出向く等連携を密にしている。又、小・中・高校との交流もあり「和気あいあいとお付き合いされている。</p>

2. 評価報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「地域に密着した老人福祉サービス事業所を設立したい」という思いで開設されており、その志を礎として地域の方々や利用者、スタッフ共々日々「和気あいあい」と生活していくことを理念として掲げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	採用時の説明や日々のミーティング、会議等を通して又、目につく所に掲示し共有すると共に意識化を図っている。地域の方々と和気あいあいなお付き合いをしながら、和気あいあいと家庭的な事業所作りに取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に準会員として加入。利用者も周辺地域の方々が多く挨拶、声かけ、野菜の差し入れ等日常的である。自治会からの情報による催し物や行事等に参加したり、小・中・高校との交流もあり和気あいあいとお付き合いしている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価にあたっては個々の意見を項目毎に出し、会議で集約しまとめている。評価プロセスの中での気付きや日々の取り組みの中での気付きは、即話し合い改善に取り組んでいる。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回定期的実施するのは困難な状況ではあるが、行政、自治会、民生委員、利用者家族、それぞれの立場からの意見交換、アドバイス、情報提供があり、それらをサービス向上に活かしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の高齢者を対象とするワーキングチームの一員として施設長が参加している。又、市の委託を受け小学校への老人介護についての講師派遣、中学生の体験学習や高校生のヘルパー実習の受け入れ等しており、地域の老人福祉サービスの向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時や苑だよりにより身体状況や生活状況を報告している。緊急を要す時は適時に報告している。遠方の方へはメールや電話等により連絡を取り、家族の安心につなげている。金銭に関しては面会時報告しサインを得ている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議、家族会、面会時等、意見の引き出しに努めている。投書箱は設置されているが投函はされていない。出された意見は即検討し取り組んでいる。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	デイサービスとの併設のためスタッフが日単位で兼務している。行事や訓練等合同で行なうことも多くスタッフとは顔なじみであり、利用者へのダメージは少ない。ここ2～3年離職者もなく安定している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修には交代で参加し、報告書をもって伝達している。内部ではニュースで取り上げられた事例を検討し学習している。「働きながらの学び」についてはミーティング時フィードバックし体験学習につなげている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県のグループホーム連絡協議会への参加や市での地域密着型サービスのネットワークにも参加し、交流している。広域の鈴鹿市の同業者とも連携があり、共に刺激し合いサービスの質の向上を目指している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ほとんどの利用者がデイサービス利用からの入居である。デイサービス利用時延長願いになった時は、グループホームで過ごして頂いたり、行事や訓練等グループホームの方と合同で行くことも多く、又、スタッフの兼務もあり、なじみの中での入居となっている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	人生の先輩として教わる事が多い。時には利用者間で手助けしたり、なぐさめたり場面もみられ、スタッフに対しても気づかって下さることがあり、お互いの必要人間として支え合っている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時の思いや意向の把握はもとより、変化していく思いや希望を書いて頂く機会を作ったり、日々の関わりの中での観察を通して把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人、家族の意見、スタッフの気付き等ケース会議で話し合い計画立案している。身体面、生活面、双方の視点で立案されており個別性がある。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	1ヶ月に1回定期的にケース会議で見直している。退去後や身体上の変化、新たなニーズがあった時は、本人、家族とも話し合い随時見直しをしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	買い物、自宅訪問、外食、ドライブ、緊急時受診等、その時の要望に応じて支援している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ほとんどが囑託医が主治医であり2週間に1回の往診を受けている。随時往診や24時間体制で医療を受けることができ、家族の安心につながっている。歯科も医師会と協定締結があり往診可能。眼、耳、皮膚科等希望に沿い受診支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時に「終の棲家」として利用可能なことを話している。重度化した場合、医師、看護師、家族等と話し合い最善の対応を検討している。看取りの経験はないが、終末期の受け入れ可能な方針であることは全員共有している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	排泄誘導時の配慮や会話の内容、言葉かけ等誇りやプライバシーを侵害しないように心がけている。記録の保管も細心の注意を払っている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	「〇〇行こうか」「外に出たい」等の利用者の声に買物や花見に出かけている。ベランダのサロンでお茶をする、オルガンを弾く、歌う、縫物をする等過ごしている。「ご飯は後で」等それぞれの方の希望やペースに沿えるよう努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の支度、下ごしらえでは男女関係なく参加している。食事はスタッフもテーブルにつき、一緒に食し会話が弾んでいる。テーブル拭きや後片付けもスタッフと共に、一人ひとりの力を発揮し協働している。3食手作りでバランス良い食事内容となっている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日入浴可能、拒否ある人には清潔面から3日に1回は保清できるよう誘導している。昼間の入浴時間になっていて「早く眠りたい」の希望で夜間入浴は保留している。順番も時により変え、トラブルにならないよう配慮している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	書道の得意な方には理念やタイトル等を書いて頂き、裁縫が得意な方には雑巾作り、草取り、草花への水やり、カレンダーを繰る、オルガン演奏、国鉄マン作詞の歌の披露等、得意とすることを活かす場面づくりに努めている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外気浴、散歩、洗濯干し、ベランダサロンでのティータイム、買い物、外食等、戸外に出られる機会作りをしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間以外は施錠していない。デイサービスからもグループホームからも玄関がよく見え、見守りが可能である。外出される方があれば寄り添い散歩して帰宅する支援をしている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年1回、デイサービスと合同で消防署の指導のもと訓練を受けている。備蓄品もある。近所の方々の協力要請は折に触れお願いすると共に、運営推進会議でも地域の方々の協力要請をしている。	○	夜間の災害に対してスタッフも不安を持っているので、夜間を想定した訓練の実施を検討して頂くことや、マニュアル、連絡体制についてスタッフ全員が共通認識できる機会を作って頂くことを期待する。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1日1400～1500カロリーを目安に献立されている。食の細かい方には医師の指示により補助食を補給したり、食物形態を変える等、その人の状態や力に合わせて必要量摂取できるよう支援している。水分も声かけし確保に努めている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	国鉄の街にちなんでD51(蒸気機関車)が描かれ、車窓には日々の利用者の写真が飾られ一際目を引いている。季節の果物の絵、囲炉裏端の家族の風景がこよりで作られた貼絵として飾られ、季節感を出している。天窓から差し込む光は自然で圧迫感のない共用空間である。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベット、マットレス、布団、家具総て持ち込まれたものである。時計や姫鏡台、テレビ、空気清浄機、ラジオ等、愛着あるものが置かれている。居室の引戸を開けると足元灯があり、安全に配慮されている。		